

産地水産業強化支援事業

別記様式第3号 別添

事後評価報告書(漁獲物荷さばき施設)

策定年度：平成 23 年度

産地名：静岡県静岡市

産地協議会名：静岡県静岡市由比地区産地協議会

1 産地協議会

代表者名 | 由比港漁業協同組合 代表理事組合長 宮原淳一

協議会の構成員	由比港漁業協同組合、静岡市、蒲原桜海老商業協同組合、由比桜海老商工業協同組合、由比鮮魚組合、由比しらす加工組合
オブザーバー	静岡県（経済産業部水産局水産振興課、水産技術研究所）

目標年度	平成30年度
------	--------

対象となる産地水産業の種類	サクラエビ漁業、シラス漁業、定置網漁業、雑漁業
---------------	-------------------------

2 協議会の取組

産地水産業強化支援事業（ソフト事業）の取組

<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の推進 (要領第Ⅱ-第4-1-(1)-ア)	<input type="checkbox"/> 調査・調整活動の実施 (要領第Ⅱ-第4-1-(1)-イ)	<input type="checkbox"/> 新たなマーケットの開拓 (要領第Ⅱ-第4-1-(1)-ウ)	<input checked="" type="checkbox"/> 実践的知識・技術の取得 (要領Ⅱ-第4-1-(1)-エ)
---	--	---	---

※事業の内容について、該当する取組に○をつけること。

施設整備支援事業（ハード事業）の取組

<input type="checkbox"/> 漁獲物荷さばき施設

※要綱案別表2-1、2-2、2-3、2-4に掲げる施設名を記載すること。

3 成果目標と達成状況

(1) 産地水産業の現状と目標

成果目標 (漁労所得の向上3%以上)	基準年	平成22年度 : 1日当たりの労働時間 5.12 時間			
	目標年	平成30年度 : 1日当たりの労働時間 4.62 時間			
	短縮時間	0.5	時間	短縮率	9.77 %

...①

(2) 上記現状値の算出方法

平成22年度の漁業日誌における1日当たりの労働時間を基準値とし、施設整備により解消される由比市場への水揚待機時間(15分)及び蒲原市場への運搬時間(15分)を減じた労働時間を目標値として設定する。

(3) 成果目標値の達成状況

成果目標の達成状況 (労働時間の短縮3%以上)	基準年	平成22年度 : 1日当たりの労働時間 5.12 時間				基準値との比較
	1年目	平成30年度 : 1日当たりの労働時間 4.39 時間				
	労働時間の短縮 (実績値)	0.73	時間	短縮率	14.26 %	

(4) 上記現状値の算出方法

平成22年度の漁業日誌における1日当たりの労働時間を基準値とし、平成30年度の漁業日誌における1日当たりの労働時間を実績値として短縮率を算出した。

4 改善計画の取組に対する事後評価

(1) 取組の総合評価

新たな荷さばき施設を整備し、由比市場・蒲原市場が統合されたことにより、それまでに発生していた蒲原市場への運搬時間及び由比市場への水揚待機時間が解消され、漁業者の労働時間が短縮された。
実績としては、14.26%の労働時間の短縮となり、目標値であった9.77%を達成することができた。

(2) 改善計画期間の年度別計画と実績の比較

H30	計画	由比・蒲原市場の統合による労働時間の削減及び鮮度保持のための効率的な水揚・荷さばきの実施
	実績	計画通り実施した。

5 整備した施設の利用状況

施設名	目的	整備年	処分制限期間	規模、能力	計画に対する利用実績 (実施期間5年)	備考
水産物荷さばき施設	荷さばき施設を導入することにより、漁村の魅力向上を図る。	平成23年	平成38年	鉄骨3階建 準耐火建築物 延床面積：3,480.87㎡ 最大出荷能力：66.4t 年間水揚量：2,188t	平成26年度 1,447t (66%) 平成27年度 1,380t (63%) 平成28年度 1,614t (74%) 平成29年度 1,454t (66%) 平成30年度 700t (32%)	

6 今後について

今後は、施設利用率の向上を目指し、関係機関と連携してサクラエビの資源回復に向けた取組を実施していく。

7 添付書類

- (1) 改善計画書
- (2) 施設整備に伴う作業時間短縮内訳表
- (3) H22及びH30漁業日誌
- (4) 年度別水揚状況